

大分県内の外国人福祉人材に関する最新の情報をお届けします！

今回は県内の障害福祉サービス事業所の中でいち早く外国人スタッフを受入れた社会福祉法人博愛会「第一博愛寮」で活躍する特定技能外国人、そして彼らを指導する日本人スタッフにインタビューしました。



(左から)ニユンさん、ゴックさん

2024年3月から、「第一博愛寮」で勤務する特定技能外国人のニユンさんとゴックさん。

お二人ともベトナム出身で、来日後は支援員として利用者さんの食事介助、トイレ介助、入浴介助、服薬介助等を担当しています。勤続期間がまだ短いですが、飲み込みが早いので、入職後すぐに夜勤ができました。また、介護記録の入力も行っています。

全面リノベーションした宿舎が事業所と同じ敷地内にあり、通勤時間はなんと徒歩で3分くらいです。事業所から支給された電動自転車に乗って買い物や日帰り旅行をしています。



ここで
働いています！

障害者支援施設 第一博愛寮

〒870-0868大分県大分市大字野田759-1
TEL:097-549-1321

ニユンさん

●日本の景色が好きで、着物を着たいと思ったことが日本に興味を持ったきっかけでした。おじいちゃん、おばあちゃんと同居したこともあり、介護の仕事に抵抗はありませんでした。

●将来、介護福祉士国家試験に受かるよう、現在は日本語能力試験(N2)の勉強をしています。「漢字の勉強が一番難しいです。介護記録を読むとき、漢字がいっぱいあって、読めなくて大変でした」。そんなニユンさんは分からない漢字をノートに書いて、休日や仕事が終わった後に宿舎で振り返り学習をしているそうです。また、県社協主催の日本語能力試験対策講座も活用しています。

●仕事で大変なことは、興奮した利用者さんへの対応です。「利用者さんが怒ったらちょっと大変ですが、利用者さんから声をかけられて、自分の日本語が通じたときは、とても嬉しいです。」ニユンさんは少しでも利用者さんと距離を縮められるよう、頑張って方言を覚えて喋っています。

●日本に来て、最初の頃は水洗トイレの流すところが見つからなくてすごく焦ったニユンさん。「登録支援機関に聞いたらすぐに分かったので、ホッとしました」と笑いながら話してくれました。

●入職してまだ1年半、分からないことはたくさんありますが、ニユンさんは、「一緒に働いている日本人の方が優しいし、仕事をいっぱい教えてくださいます。何でも気軽に相談できる人が周りにいるので、安心して働けます」と感謝する日々を送っています。





ゴックさん

○日本の介護を学ぶために、再び来日したゴックさん。入職時点で既に日本語能力試験(N2)に合格しており、現在は県社協主催の実務者研修を受講しています。

○「実務者研修を受講して一番難しいのは専門用語です。辞書を調べても分からない言葉が多いです」。辞書と生成AIを使って、資格取得を目指し、勉強も仕事も頑張っているそうです。

○介護記録は自分で入力しています。日本人スタッフに内容を見せて文法の確認をしてもらっています。朝のミーティング内容を聞き取ることがまだ難しく、「隣の日本人スタッフにやさしい日本語で説明してもらって、内容の理解を深めています」。周囲のサポートが言葉の壁を乗り越える力になっているようです。

○「冬になると手足が冷えるので、職員が湯たんぽの使用をすすめてくれました。また、最近、水垢を取る洗剤も紹介してもらいました」とのことで、日本人スタッフと仕事以外の会話もできる関係を築けています。

○アクティブな性格で趣味はサイクリングすること。電動自転車で吉野梅園に2度も行ったそうです。「初めて来日した頃は京都、大阪、東京、日光にも行きました。富士山も登りました」と言うほど大の旅行好きで、「今後は北海道の雪まつりに行ってみたい」と話していました。

○「介護は人の役に立つ仕事です。ご利用者のお体と気持ちを大切に、やさしい心で介助していきたい」と今後の抱負を語ってくれました。

日本人スタッフに聞きました！

■ニュンさん・ゴックさんを受け入れてどうでしたか？

相馬さん：

受け入れ前は不安もありましたが、二人ともとてもまじめで礼儀正しく、日々安心して任せられています。健康面でも自分で病院に行くなどしっかりしています。利用者さんとの会話も上手で、方言を交えて笑い合う姿を見ると本当にうれしく感じます。受け入れて本当によかったと感じています。

■ふたりへ指導するときに気を付けていることは？

後藤さん：

専門用語の意味をやさしい日本語で伝えるようにしています。

2人の顔色や表情を観察して理解度確かめるほか、分からないことを分かるまで質問する2人なので、聞かれたときにしっかり説明するように気を付けています。

■これから外国人スタッフを受け入れる事業所に一言

外国人スタッフと共に働くことで、私たちは日々、多くの学びと力をもらっています。文化や習慣の違いを理解し合うことで、職場に新しい風と視点が生まれました。

10月からはインドネシア出身の実習生2名が新たに仲間入りし、さらに多様で活気あるチームになっています。



(後部左から)後藤さん・相馬さん

障害福祉サービス事業所のための「施設支援アドバイザー」募集予定！

外国人の受入を検討している事業所が障害分野でも増えています。

外国人スタッフを受け入れている障害福祉サービス事業所の経験談やリアルな話を聞きたいというご要望に応じて、受入の経験や制度説明を行い、疑問の解消ができるアドバイザーを募集予定です。

障害福祉サービス事業所の外国人受入促進に向けご協力いただける方、ぜひアドバイザー登録をお願いします。

アドバイザー公募の知らせは、後日、本会のHPに公表する予定です。

たくさんのご応募をお待ちしております。



【発行元】 社会福祉法人大分県社会福祉協議会 施設団体支援部

〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号 大分県総合社会福祉会館2階



097-558-0319



shisetsu@oitakensyakyo.jp



<https://gaikoku-jinzai.oitakensyakyo.jp/>



▲HP二次元コード